

カーペットクリーニング方式比較表

●各システムの特長

方式	ロータリー ウェット	ロータリー スピンプット	フォームエキ ストラクション	スチームエキ ストラクション	ホストドライ クリーニング
使用機材	ポリッシャー	ポリッシャー		スチーム リンサー	ホストマシーン
作業人数	2人	1人	1人	1人	1人
技能レベル	高度に必要	多少必要	かなり必要	かなり必要	不要
クリーニング回数 (年間)	4回	6～8回	5～7回	2～3回	1～2回
作業可能時間 (時間当り)	6 5 m ²	1 4 9 m ²	9 3 m ²	6 5 m ²	6 5 m ²
通行停止時間	6～24時間	1時間	1時間	6～24時間	無し
最短待ち時間	6時間	1時間	1時間	6時間	作業中可能
洗剤の残留	多い	非常に多い	非常に多い	非常に少ない	無し
再汚染の速度	比較的遅い	早い	非常に早い	遅い	非常に遅い
縮み・ほつれ	起きる	起きにくい	起きにくい	良く起きる	起きない
カビ・ダニの発生	発生する	発生しにくい	発生しにくい	良く発生する	発生しない
ウィックバック	良く起きる	起きる	起きる	起きにくい	起きない
ほかし	良	良	中	劣	優
にじみ	あり得る	あり得る	あり得る	あり得る	無し

●他方式と比較した場合の特性

- ・汚れた部分だけを局部的に行う事ができるので、コスト削減と美観度レベルの維持管理が可能
- ・使用されるスポンジは、環境にも優しく安全
- ・修復クリーニング、メンテナンスクリーニングの両方を兼ねる
- ・ブラッシングによるパイル損傷がない上、リフティング効果（カーペットのパイルを起毛させる）がある
- ・再汚染を防ぐ
- ・カビ、バクテリア、アレルゲンの回収効果
- ・ウィックバック現象を起こさない
- ・一連したシステムが、どんなシミや汚れにも対応している（別紙シミ除去作業一覧表を参照）
- ・水を使用しないため、パイルの縮みや剥がれの心配がない
- ・営業中の作業も可能
- ・洗剤（スポンジ）自体が酸性で、カーペットと同じなので、脱色をする心配が少ない
- ・ブラシを変える事によって、どんなカーペット（ウールなど）にも対応する